

処分在庫の販路開拓

マッチングワールド(本社・東京、町田博社長)は、在庫を処分したい企業と仕入れたい企業をインターネットを通じてマッチングする「Mマッチングシステム」を運用し、直近の売上高は100億円を超えた。今後は上場を目指しており、事業拡大の過程で現在行っている「保管・検品業務を信頼できるパートナー企業に委託することも検討している。」

(矢田 健一郎)

マッチングワールド

注★目 ビジネス

扱う主な商材は、ゲーム、キャラクターグッズ、ム機、ゲームソフト、トナなど。マッチング手数料レーディングカード、玩具を収益源とし、売上高の半分を中国、北米といった海外向け取引が占める。取扱商品数は123万件。6000社以上がシステムを利用し、そのうち海外が800社以上。個人事業主や副業登録

事業拡大へ仲間募り



「今後事業拡大の過程で信頼できるパートナーへの倉庫業務委託も検討中」と町田社長

録も約3,500人。海外の買い手にも分かりやすいよう、商品ごとにデータ化し写真を添え、ネットショッピングのように仕入れが可能。国内のメーカーや問屋が抱える在庫を眠らせたままにせず、流動性が高まることから、大手倉庫会社も同社のビジネスモデルに関心を寄せていると

録も約3,500人。海外の買い手にも分かりやすいよう、商品ごとにデータ化し写真を添え、ネットショッピングのように仕入れが可能。国内のメーカーや問屋が抱える在庫を眠らせたままにせず、流動性が高まることから、大手倉庫会社も同社のビジネスモデルに関心を寄せていると

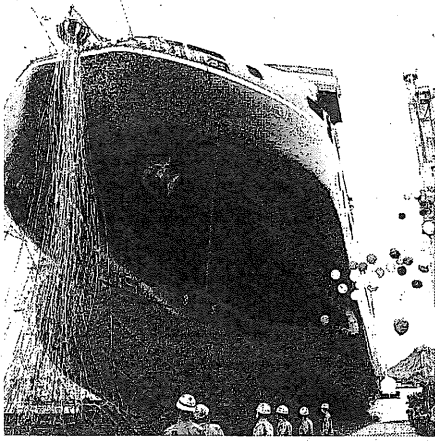
録も約3,500人。海外の買い手にも分かりやすいよう、商品ごとにデータ化し写真を添え、ネットショッピングのように仕入れが可能。国内のメーカーや問屋が抱える在庫を眠らせたままにせず、流動性が高まることから、大手倉庫会社も同社のビジネスモデルに関心を寄せていると

録も約3,500人。海外の買い手にも分かりやすいよう、商品ごとにデータ化し写真を添え、ネットショッピングのように仕入れが可能。国内のメーカーや問屋が抱える在庫を眠らせたままにせず、流動性が高まることから、大手倉庫会社も同社のビジネスモデルに関心を寄せていると

商船三井さんふらわあ「さんふらわあ かむい」 新LNGフェリーが進水

25年、東日本航路に投入

商船三井(本社・東京、橋本剛社長)と商船三井さんふらわあ(同、牛奥博俊社長)は11日、大阪 別府(大分県)と既存船より20台増加し、航路で運航中の「さんふらわあ かむい」は全室を個室化した。



3隻目のLNGフェリー「さんふらわあ かむい」

回復進むも低水準

23年度 トラック販売は、深刻な半導体不足から脱したものの、日野自動車は21.3%減となった。

「さんふらわあ」を掛け合わせた。11日の式典で、谷智保会長が命名を行った。北海道を中心に小売業を展開するセコマの丸谷智保会長が命名を行った。北海道を中心に小売業を展開するセコマの丸谷智保会長が命名を行った。北海道を中心に小売業を展開するセコマの丸谷智保会長が命名を行った。

トラック販売は、深刻な半導体不足から脱したものの、日野自動車は21.3%減となった。

回復進むも低水準

23年度 トラック販売は、深刻な半導体不足から脱したものの、日野自動車は21.3%減となった。

完全匿名と検品が事業の鍵

「完全匿名と検品が事業の鍵」と町田社長は語る。23年8月期売上高は109億円で前期比37%増。24年8月期は120億円で前期比12%増。取引先からの信頼向上につなげている。

一方、商品の入出荷・保管・検品といった倉庫業務はこれまで自分で行ってきた。取引の匿名性と確実な検品を重視した結果だが、「今後さらに事に託したい」と同社